授業科目　教育相談

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	健栄・スポ
山崎　史恵	開講時期	後期	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GIO】
学校現場でみられる児童・生徒の種々の問題（不登校やいじめ、不適応行動、心身の症状など）について解説し、学校における教育相談の意義や進め方、技法についての基本的な知識を理解するとともに、できるだけ具体的な事例をもとにその問題と対応について検討しあう。また、教師の役割を踏まえたうえで、他機関や保護者との連携についても理解を深める。

【学習目標・行動目標：SBO】
1. 教育相談の領域と独自性、効用、および限界について学ぶ。
2. 児童生徒の心理的問題の現れ方、および問題の種類とその対応について学ぶ。
3. 児童生徒の心の健康について理解を深める。
4. 生徒や保護者と話し、相手を理解するための基本的態度と実践力を養う。
5. 他の教員や専門家、他機関との連携を取る際の基本的な態度と留意点を学ぶ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション：教育相談とは	1	講義（実習を含む）・小レポート
2	教育相談の枠組み、構造、倫理	1	講義（実習を含む）・小レポート
3	児童生徒の心理的な問題の現れ方（学校での不適応行動）	2	講義（実習を含む）・小レポート
4	児童生徒の心理的な問題の現れ方（反社会的な行動）	2	講義（実習を含む）・小レポート
5	児童生徒の心理的な問題の現れ方（身体症状と精神症状）	2	講義（実習を含む）・小レポート
6	児童生徒の心理的な問題の現れ方（不登校）	2	講義（実習を含む）・小レポート
7	児童生徒の心理的な問題の現れ方（不登校）	2	講義（実習を含む）・小レポート
8	児童生徒の心の健康	3	講義（実習を含む）・小レポート
9	児童生徒の心の健康	3	講義（実習を含む）・小レポート
10	生徒および保護者を理解するための方法（面接場面での具体的方法）	4	講義（実習を含む）・小レポート
11	生徒および保護者を理解するための方法（言葉以外のコミュニケーションの方法）	4	講義（実習を含む）・小レポート
12	生徒および保護者を理解するための方法（その他の工夫）	4	講義（実習を含む）・小レポート
13	生徒および保護者を理解するための方法（保護者への支援）	4	講義（実習を含む）・小レポート
14	教育相談における連携の問題	5	講義（実習を含む）・小レポート
15	まとめ		レポート

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況、授業内レポートおよび期末レポートにて総合的に評価	